

セッション	番号	発表日	会場	開始	終了	部門	演題名	所属情報			要旨
								所属	筆頭所属	代表発表者	
FS 1	1	18日(火)	第2会場(2F)	13:00	13:55	治水	札幌開発建設部における「かわたびほっかいどう」の取組みについて ー北海道らしい地域、流域の賑わいを創出する取組みー	札幌開発建設部	河川計画課	北谷 沙紀子	第8期北海道総合開発計画のもと、川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を効果的に発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進している。本発表では、当部で推進している、自治体や観光団体、NPO等と連携した取組みを紹介するものである。
FS 1	2	18日(火)	第2会場(2F)	13:00	13:55	治水	漁川における魚がのぼりやすい川づくり ー第3号床止における遡上効果の検証についてー	札幌開発建設部	千歳川河川事務所	河村 泰我	漁川はサケ・マス等が遡上や自然産卵する場として、とても豊かな河川環境を有している。しかし、近年発生した度重なる出水により、第3号床止では落差が拡大したことによって魚類等の遡上が困難な状況となった。 このため昨年度秋季に、順応的管理として遡上障害の解消に資する石組みを試行している。 本報は今年度の魚類調査結果を基に、その遡上効果を報告するものである。
FS 1	3	18日(火)	第2会場(2F)	13:00	13:55	治水	大雪ダムにおけるコスト縮減にむけた流木処理の取組みについて	旭川開発建設部	大雪ダム管理支所	森 智昭	平成28年8月、記録的な大雨に見舞われた一連の出水により既往最大の流入量499m <sup>3</sup> /sを観測し、大量の流木が発生してダム湖には多くの流木が流れ込んだ。ダム湖に流れ込んだ流木については、下流への再流出を防ぐために迅速に集積したが、4000m <sup>3</sup> を超える流木の処分には多大な費用を要する状況である。 本発表では、近年実施している流木処理工事及び無償提供の試行等について報告するものである。
FS 1	4	18日(火)	第2会場(2F)	13:00	13:55	治水	AIを用いた河川の水位予測 ー次世代型水位予測による防災対応ー	室蘭開発建設部	治水課	小森 太一	現在洪水が予測される場合、水位予測結果を踏まえ先を見越した防災対応を実施している。AI(人工知能)では「雨量データ」と「水位データ」の関係を学習させ、予測時には外力から直接的に結果を予測するため従来モデルの複雑な計算が不要となり、予測計算時間の短縮が可能になる。また、リアルタイムの自動計算で予測が可能であり水位予測の他にも防災対応に有用と考えられることから取組みについて紹介するものである。
FS 1	5	18日(火)	第2会場(2F)	13:00	13:55	治水	河道情報共有による横断工作物のリスク回避事例について ー河川管理者以外との情報共有ー	網走開発建設部	治水課	今村 雄一	平成30年7月の洪水により湧別川に架かる道道「いわね大橋」の橋脚が被災したことを契機に、河川管理者が所有している河道状況の情報を横断工作物等の管理者へ共有を図りリスクマネジメントに繋げていく取組を開始している。本発表は、河川管理者(国)が主体となり関係機関への情報提供を行うとともに、合同で各横断工作物の状況を確認し、実際に対応策を講じた事例を発表するものである。
FS 2	6	18日(火)	第2会場(2F)	14:20	15:25	道路	地域と事業のつながりを目的とした取組みについて ー旭川・紋別自動車道における供用前イベントの実施事例ー	網走開発建設部	遠軽開発事務所	植田 颯	遠軽開発事務所では地元の学生を対象とし、高規格道路への関心を深めていただくために、現在事業中の旭川紋別自動車道 遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC間の供用前イベントを実施した。供用前の道路だからこそ出来るイベントを考え、小学生は舗装への塗絵やサイクリング、中学生及び高校生は学校行事であるマラソン大会コースの一部に本線を使用した。本稿では供用前イベントの実施状況について紹介する。
FS 2	7	18日(火)	第2会場(2F)	14:20	15:25	道路	カメラ画像を活用した吹雪視程状況活用について ー道東地域の吹雪対策高度化に向けてー	釧路開発建設部	道路計画課	山内 良輔	冬期における吹雪時の視界状況把握として画像から視界の程度を把握する技術を、道路管理用CCTVカメラ画像および、道路パトロール車に搭載したドライビングレコーダーの画像を用いて、効果的・効率的な道路管理に向けた活用について検討した。
FS 2	8	18日(火)	第2会場(2F)	14:20	15:25	港湾・漁港・空港	一般市民に向けた漁港整備事業のPR活動を体験して	留萌開発建設部	留萌港湾事務所	住吉 永次	地域で開催されるイベント等と連携し、当事務所では広報活動の一環として、当開建所有の港湾業務艇「ゆりかもめ」を使用した「みなと見学会」を開催している。一般市民を対象に漁港の役割や漁港整備事業に関する理解を深めてもらうことが目的となる。ここでは、事業PRを体験して苦労した点や達成感(特に子供、女性、外国人への対応など)、広報活動を通じた地域との関わり方について紹介する。
FS 2	9	18日(火)	第2会場(2F)	14:20	15:25	港湾・漁港・空港	羅臼漁港における灯台工事について	釧路開発建設部	根室港湾事務所	大柏 賢仁	知床半島に位置する北海道屈指の水産物流通拠点である羅臼漁港では、漁港機能の拡充整備を進めているところであり、この事業の一環として新たに陸上ヤードで製作した灯台躯体を海上運搬し外港防波堤に設置、既存内港灯台を解体する航路標識移設工事を行った。本発表では土木技術者1年目として初めて経験したこと等を踏まえながら、この工事内容について紹介するものである。
FS 2	10	18日(火)	第2会場(2F)	14:20	15:25	機械	歩道除雪作業におけるオペレータ支援について ー小形除雪車作業ガイダンス装置についてー	札幌開発建設部	施設整備課	細川 大暉	本稿では、歩道除雪において段差や障害物等により必要となる障害物回避等の操作補助として北陸地方整備局にて先行導入しているロータリ除雪車、小形除雪車のガイダンス装置を札幌道路事務所に導入したのでその導入経緯や装置概要、使用状況について報告するものです。
FS 2	11	18日(火)	第2会場(2F)	14:20	15:25	事務	道路境界確認と不法占用是正業務から学ぶ対外対応について	留萌開発建設部	公物管理課	秋田 康太	北海道の国道を管轄している北海道開発局にとって維持管理事業は世間から求められている重要な社会的使命の一つである。道路の維持管理に当たり、道路敷地と民地との境界の確認を行った上で、看板、のぼり、照明及び家屋などの物件を不法に道路敷地上に占用している方々に対し、各戸訪問して所有者もしくは関係者に対して不法占用の説明を行った。その際に感じたことや苦労した点について紹介する。